

第一部 年間の諸行事・諸活動と教育事業・研究活動・社会貢献活動等の成果

I 大学共通事項

1 教育事業

<学部・学科の新設および再編>

・淑徳大学通信教育部開設の認可

かつて18歳人口の急増期に、高等教育機関の収容力不足により大学教育を受けられなかった人々の大学教育へのニーズを本学の教育資源を生かしつつ満たすことは、建学の精神に沿うことであるとの考えに立ち、国際コミュニケーション学部人間環境学科を基礎学部学科として人間環境専攻（正科生定員200人、3年次編入学定員1,100人）と子ども教育専攻（正科生定員150人、3年次編入学定員200人）の2専攻からなる通信教育部の設置認可申請を平成20年5月23日に行った。その後、文部科学省からの改善・対応事項の指摘を受け対応を行った結果、12月24日に認可された。また、通信教育部長には上田通信教育部開設準備委員長が就任する予定である。

・コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科設置の申請準備

社会開発・地域社会に貢献する人材の養成および安定した学生確保を目的として、総合福祉学部の再編を決定した。具体的には総合福祉学部人間社会学科を廃止し、新たにコミュニティ政策学部コミュニティ政策学科（入学定員125名）を千葉キャンパスに設置する申請を行うこととした。この新学部は社会学をもとに経済学、法律学、および政策学の4つの学問分野を含む複合的学部であり、社会開発・地域貢献への具体的政策策定・実践に関する教育と研究を通じての人材養成を行うものである。また、学士課程教育の充実に配慮した教育体系を備えたものをめざしている。

<国際交流事業>

・慈済大学との学術交流協定および覚書の締結

本学国際交流を充実する目的で、かねてより総合福祉学部田宮教授が中心となって準備をすすめていた慈済大学との学術交流協定および覚書が、平成20年5月22日、王本榮校長以下6名の慈西大学関係者を招請し、本学学長、副学長他役職者出席の下に締結された。

慈済大学は台湾花蓮市にある仏教系私立大学で、医学院、生命科学学院、人文社会学院、教育伝播学院の4つの組織に12の学系をもつ総合大学である。協定および覚書により、今後1年間の短期留学生など学生の交流と学術研究交流などが行われることとなった。

・東国大学（韓国）との覚書の締結

東国大学からの留学生の送り出し要請および本学の国際交流の活発化方針に則り、平成15年2月に締結された「淑徳大学と東国大学校間の交流に関する協定書」に基づき、相互の学生受け入れなどの交流プログラムについての覚書の締結が平成21年1月になされた。

<社会状況の変化にともなう学生支援>

・緊急学費減免奨学金規程および教育ローン利子補給奨学金規程の制定

社会的な経済環境の悪化を受け、家計が急変し、このままでは学業の継続に支障が出る可能性のある学生が出ている現状から、そのような学生を対象とする緊急奨学金制度の導

入が必要との学長の指示を受け、本学でも次年度の入学生および在學生に適用できるような給付奨学金制度を設けることとなった。この規程による奨学金には緊急学費減免奨学金3種類（①1年間の学費相当額、②1年間の授業料相当額、③1年間の授業料の2分の1相当額）および教育ローン利子補給奨学金があり、この規程は次年度より適用され、4年間の時限つき措置とされている。

・採用内定取消者等の卒業延期制度に関する規程の制定

同様に社会的な経済環境の悪化を受け、学部の4年次に在籍する学生のうち、企業等から採用内定の通知を受けていたにもかかわらず一方的に取り消されたこと等を理由に、在籍期間の延長を希望する者に対する緊急の措置として、卒業の延期を認める制度を設けることとなり、21年1月から施行された。この規程が適用されるためには、卒業の要件をすべて満たしていることなどの条件に合致していることが必要となる。

2 社会貢献活動

・地域支援室（地域支援ボランティアセンター含む）活動

1) 20年度活動報告

①災害支援活動

- ・教職員対象「非常食体験会」6月27日（参加教職員50名）
- ・「岩手・宮城内陸地震」被災地支援ボランティア夏季合宿 8月26日～28日（宮城県栗原市）参加者計11名：学生9名（千葉キャンパス7名・千葉第2キャンパス1名・淑徳短期大学1名）、教職員2名
- ・「岩手・宮城内陸地震」被災地支援ボランティア冬季合宿 12月13日～14日（岩手県栗原市）参加者計7名：学生6名、教職員1名

②募金活動について

- ・ミャンマー・サイクロン災害救援募金 133,087円
- ・中国四川省大地震救援募金 146,107円
- ・岩手・宮城内陸地震救援募金 95,812円
- ※上記の募金活動に携わったボランティアさんは約250人。日本赤十字社千葉県支部を通じ被災地に届けられました。
- ・赤い羽根共同募金 4,967円 千葉県社会福祉協議会に寄付

③救急救命法講習会（AED及び心肺蘇生法）

- ・6月27日 会場：日本赤十字社千葉支社（参加学生30名）
- ・11月6日 会場：学内（参加教職員20名）

④季刊誌「ボランティア@」6号～8号まで発刊

⑤地域連携ボランティア活動

- ・千葉市と協働連携による、学内初の公認ボランティアの企画・運営「千葉市ゆうあいピック（公認欠席）」5月21日（参加学生61名）

⑥淑徳大学ボランティアサークル連絡会（通称：淑ボ連）の運営

⑦常任支援学生による「ボランティア論」（12月10日）講義の企画・実施

⑧ウィンターセミナー（12月20日）における新入学内定者に対する全てのプログラムの企画および実施（案内誘導からアイスブレイクまで）

- ⑨大学初の防災フェア 2008（煙体験・消火訓練・応急手当・起震車、非常食体験）を千葉市消防局、千葉市防災普及公社の協力を得て企画・開催。12月18日
- ⑩日本赤十字社千葉県支部に千葉県青年赤十字奉仕団に淑徳大学分団として加盟、日本赤十字社の様々な活動を支援・協力

2) 21年度年間計画について

- ・基本的には20年度の内容と同じ
救急法の講習会、AED講習会、献血協力、非難訓練、大学祭協力、季刊誌（@マーク）の企画・編集・発行
- ・新しい試みとして
淑徳大学学生消防隊の企画・運営
地域自治会等へのボランティア参加

3 その他

・大学基準協会相互評価改善報告書の提出

平成16年度に大学基準協会の相互評価を受けた結果、「勧告」を受けた社会学部の入学定員に対する入学者比率の超過、国際コミュニケーション学部の収容定員に対する在籍学生数の超過の2項目、また「助言」を受けた13項目について、改善報告書を作成し、7月28日大学基準協会に提出した。この結果、平成21年3月13日付けで大学基準協会より多くの項目について満足すべき成果が見られ、今後も改善経過報告をする必要のある項目はないとの結果が通知された。

・学長選任規程の改正

かねてより検討事項であった学長選任規程について、私学の独自性を活かしつつ教学の意向を汲むことのできる学長選任規程の作成に向け検討を重ねてきた結果、専任教員代表4名、専任事務職員代表2名、法人理事1名の計7名からなる学長候補者選出委員会が学長の選任にあたるという内容の新規程が制定され、平成20年4月1日から施行されることとなった。これに伴い、淑徳大学学長選任規程施行細則、副学長選任規程も整備された。

・助教任用規程の施行

総合福祉学部では、実習指導教員の増員の必要があること、また看護学部も他大学の動向等より助教制度制定への要望がかねてよりあることなどから、「淑徳大学 助教任用規程」が平成20年10月1日より施行されることとなった。助教の職務は「所属する学部の学部長の指示および監督を受けて、教育ならびにそれに関わる事務に従事すること」とされ、雇用期間は1年であるが、5年間の範囲で継続して更新することができるとされている。

・教育・研究費について

専任教員が教育・研究のために使用する経費に、従来は「個人研究費」という名称が使われてきた。しかし、個人的な研究ではなく、あくまでも教育に資する研究に使われる費用であり、誤解をさけると同時に他大学の動向にも歩調をあわせ、次年度より「教育・研究費」という名称に改めることとなった。これにより、各学部で関連規程を変更すること

になった。

・淑徳大学教育研究年報第4号の発刊

本学専任教員は本学の行う自己点検・自己評価の基礎資料とするとともに、本学学生に対して教員の教育・研究活動等の情報を提供するため、また本学の研究・教育情報を他大学や他の研究機関に提供するために、毎年、教育・研究・社会活動に関する報告を義務付けられており、これまで5年に一度、学部ごとに研究年報の形で収録し発行してきている。

このたび平成20年2月に発行された第4号は、平成15年度から平成19年度に行われた本学専任教員の教育・研究・社会活動に関する報告の記録であるが、看護学部が加わり3学部になったことを機に、学部ごとに教育研究年報としてまとめたものを、さらにひとつの大学の報告書として、3学部分を一緒にケースに収納する形式として発行した。

・平成19年度淑徳大学年報の発刊

平成16年度に（財）大学基準協会から相互評価・認証評価を受けたことを契機に、その後毎年本学の自己点検・評価を制度的かつ恒常的に行うために「大学年報」を発行している。平成18年度で自己点検評価項目の点検・評価が一巡したことにより、平成19年度からは各キャンパス別に第一部として年間の諸行事・諸活動と教育事業・研究活動・社会貢献活動等の成果の記述、第二部に大学基礎データの掲載を行っている。